



とつか
2018年2月会報 第280号

国際会長(IP) Henry Grindheim (ノルウェー)

2017 主 題 “Fellowship across the Borders” 「国境なき友情」
スローガン “Let Us Walk in the Light-Together” 「ともに、光の中を歩もう」

アジア太平洋地域会長(AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

主 題 “Respect Y's Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」

～ スローガン 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」

東日本区理事 (RD) 栗本 治郎 (熱海)

主 題 「広げよう ワイズの仲間」 “Extension Membership & Conservation”

2018 スローガン 「楽しくなければ ワイズじゃない 積極参加で 実りある奉仕」

湘南・沖縄部部長 金子 功 (横浜)

「Y's の絆を強め、広げよう」 “Let's Tighten and Expand the Bonds of Y's Men”

クラブ会長 浦出 昭吉 「初心に帰ろう、グッドスタンディング目指して」

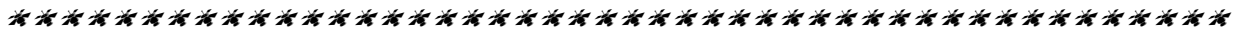
主 題 副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 鈴木 ひろ子

メネット事業 吉原 和子 担当主事 長田 光玄



**ワイズメンズクラブ国際協会
第21回東日本区大会**

日 時：2018年6月2日(土)・3日(日)
会 場：プラサヴェルデ
ホストクラブ：沼津ワイズメンズクラブ
協力クラブ：富士山部 各ワイズメンズクラブ
後 援：沼津市・沼津商工会議所
静岡県東部地域コンベンションビューロー



会長ひと言

浦出 昭吉

～家事や育児の役割分担～

先月4日付朝日新聞の投書欄に三重県在住、18歳ブラジル人高校生の投稿が掲載され、日本は世界の中でも、「夫が育児をしない国」で、それは 男が仕事で忙しく、女が育児をするという旧来の考え方がまだ強く残っているからだという主張が載り、さらに同じ日の紙面の隣り合わせの社説で、昨年11月に熊本市の市議会で本会議に生後7か月の長男を抱いて出席しようとしながら拒まれて大騒ぎとなった女性市議の行動を採り上げ、様々な賛否両論の意見があって、そのどちらも一理あるとした上で、女性市議の行動と上の投書を同じ紙面に載せるという、日本での女性の働きにくさを真っ直ぐに伝えた価値ある問題提起として捉えようとする紙面構成に、アサヒの決意表明の一面を見たような気がしました。思い起こせば、私たちの世代が育児問題に直面した30年前の社会は、亭主は外で働き女房は主婦専業という世帯が大多数で、暗黙の裡に家事・育児は妻の役割とされていました。それでも、若い父親でもあった私たちの世代では、慣れないわが子のオムツ替えなどに積極的に挑戦し続け、周囲からちよくちよく冷やかされた記憶も有ります。こうした亭主の行動が女房殿にはプラスとなったかどうか、ここにきてまた問題再燃…、お互いに往時などをふり返って…。

ワイズの皆さんのお宅では いかがでしたでしょうか…?

◎今月の聖句◎

「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪びとを招くためである。」
—マルコによる福音書2章17節—

主イエスが、もし聴診器をお持ちでしたら、身体だけでなく私たちの心にも聴診器を当てて診断してくださるのではなからうか…、心に聴診器を当てながら、どのような診断結果を出していただけるのでしょうか…。その時に処方されるお薬は、恐らく「愛」です。癒しは祝福になります。

主は、時に手を置いて病人を癒されました(マルコ8:25)。病巣を見つけても癒すためです、「愛」の処方によって…。

強調月間 **TOF**

TOF (Time of Fast) は、「断食の時」と直訳になるが、飢えに苦しむ人々を支援するため、その月の例会時の食事を抜き、その分を献金しようというもので、国際が集めて、苦闘するYMCAを通じて支援・給付する制度である。

国際交流関連の諸献金の一つで、@1,300円以上が要請されている。似ている用語に**CS**がある。これは**Community Service**の略、これはもっぱら国内向けの、文字通り**地域奉仕活動**を指す。こちらは、@1,250円以上を求めている。

1月在籍者数			1月出席者数			出席率	ファンド		B	F	B	F	CS・TOF・A S F	B A P Y	ロ	バ
メ	ン	11	メ	ン	10	94%	他	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
メ	ネット	8	メ	ネット	3		前	月	迄	0	0	0	0	10,000	26,500	
			ゲ	スト	ら	0	当	月		0	0	0	0		0	
計		19	合	計	13		累	計		0	0	0	0	10,000	26,500	

☆Y-Y's 合同新年会 (第1例会振替え) 報告☆

浦出 昭吉

日時： 2018年1月13日 (土) 18:00~20:00
 会場： 山下町・ワークピア横浜 3階かもめの間
 出席者： (メン) 長田・加藤・佐藤・鈴木・土方・浦出
 (メネット) 加藤・吉原 計) 8名

みなバラバラのシートでしたが、それはそれで絶好の交流のチャンスとなり、程なく歓談の輪があちこちと広がってありました。何度かこの会場を利用していますが、こうして各自着席し ゆったり気分の会合は、今回が初めてです。



ワイズの新年会のハシゴは初めてでした。次ページにも書きましたように 在京のほうは 15:30 過ぎには終わり、ご挨拶もそこそこに東京しののめの会場を後に、途中でメネットとも分かれ そのまま山下町の会場に定刻には到着、場内を見渡したところ、とつかの間間はすべて勢揃いしている様子です。とりわけ

長田担当主事の参加は、クラブにとり まさに千金の重みがあります。頂いたプログラムによれば、総勢で47名の参加、まずまずの合同新年会となりました。

厚木クラブの小松会長の司会で…と申し上げるより、彼の定番、やおら取り上げたトランペット、高らかにファンファーレが場内に鳴り響いて 合同新年会の開幕です。

金子部長の挨拶に引き続いて行われた祝辞の中で、田口総主事



からは、「昨年着工した富士山 YMCA の研修棟が、お陰様でその全貌を現すに至ったので是非お立ち寄りいただきたいこと、また‘三浦ふれあいの村’が県から無償で貸与されるに至ったこと…」などが披露されました。

松島部書記による食前の感謝に引き続いて加藤ワイズのユーモアあふれる乾杯の発声で食事と歓談に入りました。会場に入る際に、それぞれのテーブルナンバーが抽選で決められてしまう関係で、クラブの仲間同士

お陰で、運ばれてくるお料理にも落ち着いて箸を伸ばし、隣同士・テーブルを囲んでの話題に事欠きません。

クラブ紹介では 参加者全員が舞台上り、客席からの喚声に答えていました。

次期区大会アピールでは、ご持参の横断幕をホストの相磯ワイズらが掲げ熱烈アピール、一同 記念写真に収まり、定刻の20時、佐藤節子次期部長の閉会点鐘で幕となりました。



☆合同新年会余聞☆

加藤 利榮

ニニ・ロツン…と聞けば、知る人ぞ知る、イタリア・トリノ出身の古今東西にその名を馳せたトランペットの詩人、‘夜空のトランペット’、あの哀愁に満ちたメロディは一度聴けば 恐らくトランペットの魅力の虜になった人も多かったのでは…。

閑話休題、先だつての合同新年会での総司会の大役を果たされた厚木クラブの

小松仲史会長、私には3年前の厚木での東日本区大会を彷彿とさせる一瞬でした。あの時も、何度か彼の演奏があったように記憶します… とその程度だったのですが、今回は違いました。

私たちの目の前で朗々と鳴る快音、ほんの一瞬でしたが私には心の奥底まで沁み渡りました。気が付くと、指が夢中でカメラのシャッターを押しておりました、なぜか巧く撮れません、何とか残った1枚がこの写真です…! 前に伺ったお話では、彼の母方の祖父さまが山梨(当時:甲府)YMCA 総主事をされていたとか…、厚木大会でも第1部の総司会のお役だったと記憶しています。お仕事は、確か‘防犯用カメラの販売・施工’の会社を経営とか…。

もし機会に恵まれれば、是非 一度 拝聴したいと思います。

☆第2例会報告☆

若木 一美

日時：1月23日 (火) 18:30~20:00

場所：湘南とつかYMCA 201号室

出席者：(メン) 有田・長田・加藤・佐藤・鈴木・土方・吉原・若木・浦出

(メネット) 加藤

計) 10名

◇ 報告事項等

① 1/9 (火)：鎌倉クラブ新年例会 (別掲)

② 1/13 (土)：在京新年会 (別掲)

③ 1/13 (土)：Y-Y's 合同新年会 (別掲)

④ YMCA & 踊場地区センター関係

◇協議・確認等

① 次期会長の指名・選任：浦出会長 留任

② 次期ユース事業主査の指名・選任：若木一美ワイズ

③ 2月第1例会の件：EMCをテーマに辻ワイズに依頼

④ 2/12 (休)：YMCA 会員大会の件

⑤ 2/17 (土)：4部合同 EMC シンポジュームの件

⑥ YMCA から

◇その他

2月号会報用原稿を依頼した。



☆在京新年会に参加して☆

浦出 昭吉

日時： 2018年1月13日(土) 12:30~15:30

場所： しのめYMCA こども園 2階 ノアホール

参加者： 150名 - 「とつか」は 浦出夫妻(2名) -

第一部 礼拝:北 秀樹牧師「フィリピの信徒への手紙」から、「…へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、…他人の事にも注意を払いなさい。」は 正にYMCAの新しいスローガン“みつかる。つながる。よくなっていく。”の心と同じことと感じました。献金は「東日本大震災復興支援のために」捧げられ、祝祷をもって終わりました。

第二部の懇親会会場準備の間、別室で 北海道から沖縄までの「銘酒飲み比べ」やワイン、焼酎も飲み放題となり、参加の皆さんは「ほろ酔い」、赤ら顔のまま懇親会場に移りました。

第二部 懇親会: ご来賓祝辞のあと、宮内次期理事の乾杯で会は始められ、場内はたちまち懇親のるつぼと化しました。お料理は インド料理がメインで、3種類のカレー、揚げ物、サラダ、それに飲み物…と豊かで、話題の方にも事欠きません。メネットは…と見ると、もっぱら浅見夫人とおしゃべりに夢中の様子、当方も 大方のお顔見知りの皆さんと、新春のご挨拶かたがた 10年来の知己のように お話させていただきました。

“ショータイム”に入り、サクソとピアノによる素晴らしいジャズ演奏、青木方枝ワイズのステージも素敵でしたね…。

東京ベイサイドクラブの若さ溢れる皆さんの素晴らしい企画の新年会、勇気を与えられました。ありがとうございました。

☆鎌倉の新年例会に参加して☆

加藤 利榮

まだお正月気分が残る1月9日(火)の18:30から、駅を出て5分足らずの処にある いかにも鎌倉らしい数寄屋造りの料理屋「小町園」で開かれた新年例会に参加しました。カマクラとは、当方が区理事だった1992年の3月にチャーター、また とつかクラブにとっては兄貴分にも当たる縁の深いクラブ、いつか会長と担当主事の2名という時期が続いた頃は他人ごとでなく気が気ではありませんでしたが、現在9名、入会された方の中に、前から様々な形でご縁のある方もおられるなど、私にとってはこれから先が一段と楽しみなクラブになってきました。

会は、開会礼拝の後は 美味しいお料理を頂きながら進められ、特に 千葉会長が暮れの23日に参加された鎌倉クラブとDBCの関係にある芦屋クラブ20周年式典への報告が印象に残りました。式典第2部の「ミュージック・アワー」では、あの中高年には懐かしい往年の名ギタリストのクロード・チャリによる生演奏があったとのこと、例の「夜霧のしのびあい」などで会場の盛り上がりようが目に見え、思いで伺いました。

請われて「ひと言」、3月の「わかめ」、4月の「たけのこ」そして8月の拙宅での納涼会が今から楽しみです…などとご挨拶を…。20:00過ぎ拍手のうちに閉会となりました。



新春随想

☆あるお年寄りのお話から☆

加藤 利榮

(この小文は、私が10年ほど前から関係する茅ヶ崎市の社会福祉法人 特別養護老人ホームを「終の棲家」としている あるお年寄り(当80歳・男性)から 何回にも分けてお聴きした凄絶極まりないお話し、新春の読み物にしてはやや重い感じに…)

忘れもしない、今から7年前の2011年(平成23年)3月11日・金曜日の午後2時46分、家の中で片付け物をしていて私は思わず傍の柱にしがみつつきながら、頭の上の掛時計を見上げていた。咄嗟に「こりゃあ大きいぞお…」と思うと同時に、何かの頭に触れ、そのまま気が遠くなってしまった。どのくらい時間が経ったか…、誰かの呼ぶ声に目を開けると何人かの目が私を覗き込むようにしている。腰から下が全く何の感覚もない、手も思うように動かない…と言うより勝手に動いている感じだ。…こりゃあ 大変なことが起きたぞお…、家の者たち…といっても3人家族、家内は確か下の「夜ノ森(よのもり) 駅」近くで買物に出たはずだし、娘は 地元のテレビ局に仕事で出ているし…など、目まぐるしく思いを巡らすが一方向に声にならない。「大変だあ、ツナミだあ…」の声に起き上がろうとしたが脚が全くいうことを効かない、ここはちょっとした高台になっている関係で 足元まで来た水は 間もなく引いていった。夕方近く、家内と娘が津波に呑まれたことと家は全壊したことを役場の人から聞かされ、息を呑んだ。この期に及んで…、まだ気持ちの整理が追い付かない感じだ、ただ無性に腹が立って致し方ない。誰に怒りをぶつけたいんだ…、一瞬にして家族と家を失ってしまったあ…、気が付くと涙が止めどもなく流れていた…。‘虎は死して皮を留め、人は死して名を…’、私には‘名’はムリ、せめて‘家’くらいは…という思いで、30年以上勤めた運送会社の退職金に借金を上積みにして2年前に建てた家、‘俺は家を遺したぞお…」と言いながら盃を挙げたことを思い出していた…。

ほどなくして、直線距離で15kと離れていない東京電力の原子力発電所も危ないと言われ、避難所は更に奥の方へと移動、‘今頃は(立入り禁止の)夜ノ森駅前の夜桜は満開だろうに…’と思うと、何か無性に腹が立ってならない…。縁あって こうしてここにご厄介になっている身分で‘何をかいわんや’、好きな相撲をテレビで観ながら、フト 当時を思い、一瞬にして天涯孤独となった自分を顧み、ごく短期間とはいえ、双葉郡の富岡にいた頃の家族共々木の香も新しい家に寝起きしたころを思うと、とっくに枯れたはずの涙が止めどもなく頬を伝って出るのを拭えずにいる自分に気付くこともあります。聞けば、常磐線の不通区間も 僅かになってきているとか…。



(現在 彼は入所4年目に…、人の言うことは理解できるが発語が難しい極端な‘運動性失語症’に罹っておられます。)

YMCA だより☆ 施設長・担当主事 長田 光玄
 ~多くの学びがあった中学校職場体験学習~

2018年1月23日(火)・24日(水)踊場地区センターにて近隣の横浜市立汲沢中学校の2年生4人が職場体験学習として来館しました。23日は、まず前日に降った大雪の「雪かき」からスタートしました。開館までには道路・駐車場・駐輪場ときれいに除雪することができ、かわいい「かまくら」も出来上がりました。いつもは地区センターを利用している立場から利用者を迎え入れる側になり、本の整理や人数チェックなど様々な業務体験し、それぞれ感じるものがあつたようで、「多くの方々に気持ちよく利用していただくために挨拶をしてたくさん話しかけることが大切。」「利用者の方に頑張って！と声をかけてもらい嬉しかった。」など感想を残していました。ユース年代の中学生が人と人の関わりを学び、他者を意識することや他者の気持ちを理解することに触れ、YMCA だからできる学びを感じてくれたようでした。センタースタッフにとっても、とても嬉しい2日間となりました。



☆今月の歳時記から☆

‘梅 うめ’ と ‘春の川 はるのかわ’

‘梅’、サクラと並び日本を代表する花木で、ウメというときは、梅の花を指すことが多い。百花に先んじて残雪の野山に高い香気を放って咲きます。気品ある清雅花として古来、数多く歌われ名歌も多い。名所としては、関東では水戸・熱海、関西では月ヶ瀬・賀名生(あのを・奈良県)などが知られている。

梅が香にのつと日の出る山路かな	芭蕉
むめ一輪一りんほどのあたたかさ	嵐雪
梅がかや針穴すかす明り先	一茶
静かなる距離を保ちて梅を見る	一哉

次に‘春の川’、春になると、雪解け水で川は水嵩を増し、山国ではそれが一時に勢いよく流れ出る。やがて落花を浮かべ、筏(いかだ)が始まる。野原や町を流れる川もまた、どことなくのんびりして春の感じは豊かになる。

一桶の藍流しけり春の川	子規
春の川水が水押し流れゆく	秀雄
雲ふかく十津川春を濁るなり	秋桜子
満席の観光船や春の川	水賊

(午)



☆2月・3月のこよみ☆

- >2/3(土) 第1例会:湘南とつかYMCA ホール・18:30
- >2/12(休・月) 横浜YMCA 会員大会:湘南とつかYMCA ホール
- >2/17(土) 4部合同EMCシンポジウム:山手・13:30
- >2/20(火) 第2例会:湘南とつかYMCA・201号室・18:30
- >3/6(火) 第80回Y-Y's 協議会:関内中央YMCA・19:00
- >3/12(月) BAPYチャリティーゴルフ大会:戸塚カントリー
- >3/20(火) 第2例会:湘南とつかYMCA/201号室・18:30
- >3/26(月) 湘南とつかYMCA 運営委員会:403号室・18:30

~2月会合のご案内~

◇ 2月3日(土) 第1例会
 卓話:「EMC・法人化・定款前文 あれこれ」
 講師:辻 剛 区定款改定委員長
 (横浜つつきクラブ)

◇ 2月20日(火) 第2例会・18:30~
 大事な相談をさせていただきます。
 ご出席のほどを宜しく…。

~HAPPY BIRTHDAY~

大高 聡さん	2月27日
加藤 利榮さん	2月17日
川津 幸子さん	2月7日
吉原 和子さん	2月24日

【掲示板】 会長

- ◎ 4部合同EMCシンポジウム開催の件
 - △ すでにお知らせしていますように、2月17日(土)の午後1時半から東京・山手センターで開かれます。
 - △ 東新部が2004年から実施していたフレッシュワイズセミナーが、この標題に形を変えて行うものです。
 - △ 当日は、「会員増強展望」「YMCA ポジティブネット」「パネリストによる発題とディスカッション」のプログラムとなっています。
 - △ パネリストのお一人に古賀健一郎さん(横浜)も…。
 - △ 終了は、16:30の予定です。
- ◎ 2/12(月) 会員大会の件
 - △ 例年2月11日の祝日に開催していますが、今年は当日が日曜日となる関係で、翌日の振替休日になりました。
 - △ 新しいスローガンとロゴになって最初の大会です。
 - △ この新しいブランドをこの大会でPRする絶好の機会となるよう各自が心掛けたいものです。
 - △ ワイズのPRもお忘れなく…。
- ◎ 2018年の年賀切手3等当選番号

27 86

(後記)

今は一年で一番寒い時期、ご自分の身体のコンディションに合った奉仕活動を心掛けましょう…。 ムリしない! ‘もう1枚、更に着て…’で、‘きさらぎ’とも…。

(TK)